

験!

司書のお仕事!

いつも見ていたお仕事を体験してみました。今までよりもっと図書室が好きになりました。



つちやことみ
土屋琴美さん(小学4年)



やまなことり
山中琴理さん(小学6年)



こんどうたくま
近藤拓麻くん(小学6年)



やまこしふたば
山越双葉さん(小学6年)

日ごろから北区民センター図書室を利用し、本が大好きという4人の小学生が参加した「図書司書体験」。今月はその体験の様子を通じて司書の仕事や図書室の中をのぞいてみましょう。

返却

借りていた方が本をカウンターに返しにきます。このときも1冊ずつ機械で受け付けするんだよ。



ほかに借りた本を返し忘れていないかな? 次の予約が入っていないかな? などパソコンの画面で確認しながら受け付けるんだ。パソコンの画面がどんどん変わっていくんだよ。

ほくも「どうもありがとう」と言われたよ。

一度にたくさんの本を借りた人が返しにきました。貸し出し冊数が一人10冊になってからたくさん借りる人が増えたんだって。

たくさん借りる人が多いね。みんな本が大好きなんだね。



貸し出し

借りたい本と貸し出し券を持って利用者の方がカウンターにくるのよ。1冊ずつ機械で受け付けをしてから、貸し出し期間を伝えて渡すのがこのお仕事。

貸し出し期間は〇日までです



「ピッ」バーコードで本の情報を読み込んで、貸し出し禁止の本が含まれていないか、貸し出し冊数を超過していないかを確認したよ。最後に返却期限をお知らせする紙を挟んで渡しました。

「どうもありがとう」と言われました。うれしかったです。



冬休みの司書体験では、司書と一緒に本を探したり、アドバイスする、そんな手助けをする体験も取り入れますので、また体験に来てくださいね。

今日は楽しかったよ!ありがとう。

いつも本を探せなくて、聞いたりしていました。もう児童書だけではなく、一般書のコーナーに行っても自分で探せるよ。見つけたときはとってもうれしい。一般書のコーナーにも興味わいてきたよ。

図書室はただ、本が置いてあるところではないんですよ。本の名前や著者名が分からなくても、「こういう内容が載っている本を探しているのだけれど」とか「こういう映画の元になったという本はどれですか」とか「タイトルの漢字が読めなくて検索できない」などの相談にお応えしています。どんどん声を掛けてくださいね。

図書室の人たちの仕事の様子が少し分かったよ。大変だけど、とっても楽しかった。利用する人たちとお話するときにはちょっと緊張したね。でもたくさんありがとうって言われてうれしかった。

